

政策推進プラン、行政運営プラン及び財政運営
プラン策定に係るパブリック・コメント手続

〔意見要旨と対応〕

令和 3 年 6 月

福岡市

目 次

1	パブリック・コメント手続の実施概要	1
---	-------------------	---

2	主な市民意見	2
---	--------	---

3 市民意見要旨と意見への対応

政策推進プラン

(1)	総論	5
(2)	分野別目標ごとの施策・事業	6
(3)	区ごとの施策・事業	17

行政運営プラン

(1)	総論	18
(2)	取組方針及び推進項目等	18

財政運営プラン

(1)	総論	23
(2)	主な取組み	24

1 パブリック・コメント手続の実施概要

(1)実施の目的

政策推進プラン、行政運営プラン、財政運営プランの策定にあたり、市民との情報の共有を図り、市民の意見を反映させるため、パブリック・コメント手続によってプラン原案を公表し意見募集を実施しました。

(2)意見募集期間

令和3年4月1日（木）から4月30日（金）まで〔1か月〕

(3)実施方法

① プラン原案の公表方法

プラン原案を情報公開室、情報プラザ、各区役所情報コーナー、入部・西部出張所において配布するとともに、各公民館で閲覧できるようにし、ホームページにも掲載しました。

② 意見提出の方法

意見については、郵送、ファクシミリ、電子メール、窓口のほか、オンラインによる受付を行いました。

(4)意見の提出状況および対応

① 意見提出者総数

71名

② 意見件数

141件

③ 意見への対応

	■修正	□原案どおり	□記載あり	□その他	計
政策推進プラン	5件	3件	30件	38件	76件
行政運営プラン	2件	2件	11件	12件	27件
財政運営プラン	7件	5件	24件	2件	38件
計	14件	10件	65件	52件	141件

2 主な市民意見

各プランにおける主な意見の概要を以下にまとめます。

政策推進プラン

(1) 総論

- 新たなプランに基づいて、コロナ禍でもさらに活気ある福岡市となる事を期待している。
- 世界的に注目を浴びている SDGs の達成に向けて、福岡市がどのように取り組んでいるのかを記載すべきではないか。

(2) 分野別目標ごとの施策・事業

- 健康づくりや生涯現役でいられる社会づくりに向けて、プラン記載の取組みをしっかりと実施してもらいたい。
- 保育所に預ける人が増えており、保育士が不足しているように感じるため、保育士の確保や働きやすい環境づくりをお願いしたい。
- タブレット端末を使った授業について、長時間となると集中力が途切れてしまうようなので、子供たちが楽しみながら学べる内容に見直しをお願いしたい。
- 市民が安心して暮らせることを目標とし、保健関係やまちづくり等の部署がうまく連携して、新たな感染症等にも円滑に対応できるような都市となることを目指してほしい。
- 一人一花運動について、民間企業や市民を巻き込んだ継続的な取組みにより、みんなが少しでも元気づけられることを期待している。
- 七隈線が延伸すれば、生活範囲が広がり、生活の利便性が大きく向上すると思うため、令和4年度の開業に間に合うよう安全第一で事業の推進をお願いしたい。
- 世の中が苦しいときだからこそ、世界水泳の開催などスポーツの力で明るい未来を作ってもらいたい。
- 本社機能の移転誘致などを通して引き続き就業機会を増やしてほしい。
- 道路網の強化や公共交通の利便性向上に加え、公共交通機関の混雑・渋滞緩和のため、今後のパーソナルモビリティの在り方を検討していただきたい。
- コロナ禍において、海外との交流を積極的に進めることは難しい面もあり、国際的な取組みも大きく変化することが想定されるため、適宜、状況の変化を見ながら取組みを進めていく必要がある。

(3) 区ごとの施策・事業

- 早良区は、少し移動すれば脊振山や曲渕ダム、室見川や百道浜海岸などに行ける魅力ある土地であるため、サイクルツーリズムなどにも力を入れていただきたい。

行政運営プラン

(1) 総論

- 新しい生活様式に対応した新しい市役所が求められている今、新しいプランの策定はとても重要なことだと思う。デジタルトランスフォーメーションの導入、市民サービスの拡充、コンプライアンスの推進など、プランに掲げられた取組みを着実に推進されることを期待する。

(2) 取組方針及び推進項目等

- 新型コロナの収束後も、新たな感染症や働き方改革、超高齢社会に対応するため、先進テクノロジーの活用積極的にチャレンジしてほしい。
- デジタル社会に適応できない高齢者等が孤立することがないように、地域や企業、学校等と連携して取り組んでほしい。
- Web会議、モバイルワークをより推進してほしい。
- 気象災害やコロナ対策等の緊急事態に柔軟かつ機動的に対応するために、組織間のバックアップ体制が構築できるよう、十分な職員数を確保してほしい。

財政運営プラン

(1) 総論

- 将来を担う世代に大きな負担を残さないよう、借金を抑えつつも、福岡市の魅力や活力を維持できるようバランスのとれた財政運営をしてほしい。

(2) 主な取組み

- 市税以外の部分でも積極的な歳入確保に努めてほしい。
- 新型コロナウイルスなどの感染症、豪雨や地震などの大規模災害などに備えて、迅速かつ柔軟に対応できるよう財源を確保しておくべき。
- 補助金は長年継続的に交付されている団体もあると思われることから、補助金交付の効果の検証などを行って補助の必要性を確認してほしい。
- 福岡市の経費負担が適正なものとなるよう、福岡県に対する要望活動はしっかりと実施してほしい。
- 受益者負担の適正化は、公平性の観点などからもどんどん進めていくべき。
- 市民生活に必要な公共施設の老朽化については、今後も安心して快適に利用できるよう改修などの必要な対策を十分に行ってほしい。
- 市債残高の縮減は、引き続き、着実に進めていくべき。

3 市民意見要旨と意見への対応

各プランにおける「市民意見要旨」と「意見への対応と考え方」についてまとめます。

凡 例

【意見への対応と考え方】

- 修正 : 意見趣旨に基づいて原案を修正するもの
- 原案どおり : 意見趣旨に基づく原案の修正がないもの
- 記載あり : 意見趣旨が原案に記載されているもの
- その他 : プランに関わらず個別の取組等への要望・提案など

(1) 総論

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
総論		
1	【進行管理】 新たなプランに基づいて、コロナ禍でもさらに活気ある福岡市となる事を期待している。	□ その他 今後とも、経済的な成長と安全・安心で質の高い暮らしのバランスがとれたコンパクトで持続可能な都市づくりに取り組んでまいります。
2	福岡市は住みやすい街だと感じていましたが、よりよい街にするために、多くの課題に取り組みられていると知りました。市の目指す方向性のイメージが湧きました。このような街づくりに納めた税金が使われていると理解でき、納得できました。	
3	これまでの適切な施策のおかげで、現在のように福岡市が発展したことに感謝いたします。これから福岡市が未永く国内外から元気なまち、住みやすいまちとして高く評価され続けられるようになりたいものです。そのために、バランスがとれたコンパクトで持続可能な都市づくりに取り組む福岡市の方向性に賛同いたします。	
4	【現状・課題】 福岡市の現状・課題のページについて、最新の数値が公表されているものは、更新した方が良いのではないかと。	■ 修正 ご意見を踏まえ、最新の数値に更新できるものについて修正します。
5	近年、高齢者による運転事故が増えており、大きな社会問題となっています。全国的に運転免許の自主返納者がふえてきているようですので、現状を知る上でも、現状・課題として、福岡市の高齢者の運転免許の自主返納者数を記載してもらいたいです。	
6	住みやすいまち？犯罪や市民マナー、減少？施策評価など調査や認識甘い 調査対象、調査方法や根拠記述がない 刑法犯認知件数全国700番台が現状で毎年低下し施策は効果無く全市町村最低レベルですべての政策、街作り都市開発はこの打開が原点	
7	【SDGs】 世界的に注目を浴びているSDGsの達成に向けての取り組みの記載が不足しているように感じるため、福岡市がSDGsの達成に向けてどのように取り組んでいるのかを記載すべきではないかと。	■ 修正 福岡市では、総合計画に基づく各種施策の推進により、SDGsの実現に取り組んでいます。ご意見を踏まえ、SDGsへの対応について説明を加えるとともに、各施策の標題に、SDGsにおける17の目標のうち、施策と関係が深い目標をアイコンで示すこととします。また、毎年、施策評価を実施し、事業の進捗状況や今後の課題などの把握にも努めており、いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
8	国際都市として発展を目指すために、SDGsに関する推進、達成の程度、成果などを示して広く公表すれば、海外の注目がより高まって、さらに評価が上がり、海外企業の進出、投資なども活発になるのではないかと思います。	
9	【その他】 「めざす」と「目指す」が混在しているため、「めざす」に統一してはどうか。	■ 修正 ご意見を踏まえ、表記を「めざす」に統一します。

(2)分野別目標ごとの施策・事業

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
分野別目標1 一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
10	<p>【ベンチプロジェクト】</p> <p>ベンチプロジェクトで市内のバス停付近にベンチが増えたと感じています。実際に利用している高齢者の姿を目にする機会も多いです。大変有意気な取り組みだと思しますので、引き続き頑張ってください。</p>	<p><input type="checkbox"/> 記載あり</p> <p>施策1-1「ユニバーサルデザインの理念によるまちづくり」に記載のとおり、今後とも、誰もが気軽に安心して外出できる環境を作るため、バス事業者と連携し、民間事業者や地域団体等のご協力も得ながら、バス停付近へのベンチ設置を促進してまいります。</p>
11	<p>ベンチプロジェクトについて、とてもよい取り組みなので、引き続き、設置箇所を増やしていただき、外出しやすい環境を整えていただきたいです。また、設置場所について、より簡単に調べることができるような仕組みがあると嬉しいです。</p>	<p><input type="checkbox"/> 記載あり</p> <p>施策1-1「ユニバーサルデザインの理念によるまちづくり」に記載のとおり、今後とも、誰もが気軽に安心して外出できる環境を作るため、地域の意向や実情も踏まえながら、身近な場所へのベンチ設置を促進するとともに、情報提供の充実にも取り組んでまいります。</p>
12	<p>【道路のバリアフリー化】</p> <p>横断歩道と歩道との3～4cmの段差 車いす 杖で危険を感じる段差。</p>	<p><input type="checkbox"/> 記載あり</p> <p>施策1-1「ユニバーサルデザインの理念によるまちづくり」に記載のとおり、すべての人が安全で快適に移動できるよう、道路のバリアフリー化に取り組んでまいります。</p>
13	<p>【健康づくり】</p> <p>今後の老年人口の増加に伴う社会保障関係費の抑制のためには、健康づくりや生涯現役でいられる社会づくりが重要になってくるため、プラン記載の取り組みをしっかりと実施してもらいたい。</p>	<p><input type="checkbox"/> 記載あり</p> <p>施策1-3「一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり」に記載のとおり、ライフステージに応じた健康づくりの推進や高齢者の活躍支援などによる生涯現役社会づくりに取り組んでまいります。</p>
14	<p>【文化芸術・スポーツ】</p> <p>コロナ下で財政がひっ迫する中においてこそ、文化やスポーツなど、市民の心を豊かにするものに力を入れてほしい。</p>	<p><input type="checkbox"/> 記載あり</p> <p>施策1-4「心豊かに文化芸術を楽しむまちづくり」に記載のとおり、すべての市民が心豊かに文化芸術を楽しむまちを目指し、福岡市民芸術祭や子ども文化芸術魅力発見事業、魅力ある展覧会の開催等を通して、コロナ下においても市民の文化芸術の鑑賞・体験機会の充実に取り組んでまいります。</p> <p>また、施策1-5「スポーツ・レクリエーションの振興」に記載のとおり、すべての市民が、心身共に健康で豊かな生活を営むことができるよう、市民総合スポーツ大会の開催や身近な場所で様々なスポーツを体験できる機会の提供など、スポーツ・レクリエーション活動に親しむことのできる環境づくりを進めてまいります。</p>

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
分野別目標1 一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
15	<p>【文化芸術】</p> <p>屋外型アートイベントには非常に期待しています。プロのアーティストだけでなく、地元の学生やセミプロの方々の活躍・発表の場となるよう、ネット配信なども活用しながら、ライブペインティングや音楽と融合したアートイベントにしてほしい。</p>	<p>□ その他</p> <p>屋外型アートイベントについては、これまで福岡城や博多旧市街の寺社などで開催し、福岡市の歴史・伝統・文化を活用した地域の魅力や賑わいの創出を図ってまいりました。オンラインの活用や様々なジャンルの融合等についても検討しながら、文化芸術の振興に資するイベントとなるよう努めてまいります。</p>
16	<p>【認知症】</p> <p>認知症になると、本人だけでなく、まわりの家族の負担も大きく、生活が一変してしまいます。認知症にやさしいまちに向けて、しっかりと取り組んでいただきたいと思っております。</p>	<p>□ 記載あり</p> <p>施策1-6「すべての人が安心して暮らせる福祉の充実」に記載のとおり、認知症の人が認知症とともに住み慣れた地域で暮らせる認知症フレンドリーティを目指し、認知症コミュニケーション・ケア技法「ユマニチュード(R)」や認知症の人にもやさしいデザインの普及促進、認知症の人の活躍の場の創出などに、産学官民オール福岡でしっかりと取り組んでまいります。</p>
17	<p>【子育て】</p> <p>保育所に預ける人が増えており、保育士が不足しているように感じます。保育士さんは現場で一生懸命に子どもたちのお世話をしてくれており、保育士の確保や働きやすい環境づくりをお願いします。</p>	<p>□ 記載あり</p> <p>施策1-7「子どもが健やかに育ち、安心して生み育てられる社会づくり」に記載のとおり、保育士の確保については、保育士・保育所支援センターにおける就職相談やあっせん、就職支援研修会開催といった、潜在保育士や学生への就職支援に取り組んでおります。</p> <p>また、勤続手当や奨学金返済などの助成、ICT化による業務軽減、就労継続のための相談窓口の設置や保育支援者の配置など、保育士が働きやすい環境の整備を図っております。</p> <p>いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
18	<p>子育て支援は色々行っていただいておりますが、保育料が高く、経済的に大きな負担となっておりますので、もう少し低くしてもらえると助かります。</p>	<p>□ その他</p> <p>福岡市の保育料については、国により定められた徴収基準額から20%相当額を減額するなど、保護者の経済的負担の軽減に努めております。いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
19	<p>子どもを安心して生み育てられる社会づくりや、教育環境の整備について、単なる現金給付ではなく、現物給付中心とすることで、少子化対策の観点などから、より効果的になると考えております。</p> <p>また、各家庭の経済事情に関係なく、等しく教育環境がもたらされる社会が理想だと考えていますので、その実現に向けた取組みが少しでも進んでいくことを希望します。</p>	<p>□ その他</p> <p>福岡市では、産前・産後の母子支援、子育て家庭の不安や負担の軽減など、子どもを安心して生み育てられる環境づくりに取り組んでおります。</p> <p>また、一定の要件を満たす世帯に対して「就学援助制度」を設けており、学校での学習等に必要な費用のうち、一部を援助しております。現在、現物給付は行っておりませんが、今後の参考とさせていただきます。</p>

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
分野別目標1 一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
20	<p>【教育】</p> <p>GIGAスクール構想の解説を加えた方がいいのではないか（GIGAの意味や定義など）</p>	<p>■ 修正</p> <p>ご意見を踏まえ、以下のとおり加筆します。</p> <p>「GIGAスクール構想：児童生徒1人1台端末、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された学びの実現をめざす国の構想。※GIGAとは、Global and Innovation Gateway for Allの略。」</p>
21	<p>タブレット端末を使って授業が行われるようになりましたが、まだまだ分かりやすいものとなっておらず、長時間となると、集中力が途切れてしまうようです。子供たちが楽しみながら学べる内容に見直しをお願いします。</p>	<p>□ その他</p> <p>児童生徒が理解しやすい動画を活用することや、タブレット端末を有効活用している学校の好事例を共有することなどにより、授業内容の更なる充実を図ってまいります。</p>
22	<p>ICT GIGAというがコストを考えろ。学び学力といっても、点がとれる取れないかが問題になる。機械を貰って、人員をつけても意味がない。一方多数の合理的なものに。</p>	<p>□ その他</p> <p>今年度からタブレット端末を活用した授業に加え、家庭学習の実施に取り組んでまいります。児童生徒が理解しやすい動画を活用することや、タブレット端末を有効活用している学校の好事例を共有することなどにより、授業や家庭学習の更なる充実を図ってまいります。</p>
23	<p>学習の理解度をアンケート回答で求めています。主観的な回答になってしまい、子供たちに有意義な学習を提供できているか分からないと思いますので、一斉模試の平均点で学力の向上をはかるのはいかがでしょうか。もちろんテストによって難易度の差があると思うので正確なデータが取れるかは微妙ですが、アンケートより現実的なデータが取れると考えます。</p>	<p>□ 原案どおり</p> <p>今後とも、全国学力・学習状況調査及び福岡市独自の生活習慣・学習定着度調査等の各種調査から課題を明らかにし、児童生徒一人ひとりの学力向上につながる取組の推進に努めてまいります。</p>
24	<p>アントレプレナーシップ教育には非常に期待しています。学校や家庭で居場所を見つけづらい子どもたちにも、そのような機会を提供してほしい。</p>	<p>□ その他</p> <p>今後とも、関係機関と情報共有をするなど連携を取りながら、アントレプレナーシップ教育の充実を図ってまいります。</p>
25	<p>SNSやインターネット上で特定の生徒への悪口を広めるようないじめが増えてきている。以前と比べ、いじめはさらに目に見えにくいものとなっているため、早期発見や相談窓口の充実をお願いしたい。</p>	<p>□ 記載あり</p> <p>施策1-8「自ら考え、学び、行動する子ども・若者の育成」に記載のとおり、いじめの早期発見や相談窓口につきましては、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの配置及び「福岡市こどもSNS相談」等により、いじめ等の早期発見や早期対応を図っております。</p> <p>その他、「学校ネットパトロール事業」において、ネット上の問題のある書き込み等を監視し、内容に応じた対応を図るとともに、児童生徒等を対象に、インターネットやSNSの適正利用についての啓発を行うなど、今後ともいじめ等の早期発見・相談体制の強化を図ってまいります。</p>

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
分野別目標1 一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
26	【教育】 小中学校の特別教室に空調設備を整備することについて、R4年度から順次供用開始となっていますが、子ども達の教育環境や災害時の避難所としての活用のため、教育委員会・学校・事業者が協力して、出来るだけ早い整備をしていただきたいと思います。	□ 記載あり 施策1-8「自ら考え、学び、行動する子ども・若者の育成」に記載のとおり、特別教室への空調設備の整備につきましては、PFI事業の実施に伴う手続き等を進めているところであり、令和4年度の可能な限り早い時期に整備できるよう、引き続き取り組んでまいります。
分野別目標2 さまざまな支え合いとつながりができている		
27	【公民館】 公民館にWi-Fiを設置することは、地域コミュニティの活動拠点としてだけでなく、災害時の活用という観点からもすごくいいと思います。ただ、公衆Wi-Fiの危険性(通信が暗号化されていないことなど)というのがあまり知られていないと感じるので、設置する際はそういった情報も発信していただけないかと思います。	□ その他 公民館へのWi-Fi環境整備につきましては、いただいたご意見を踏まえながら、利用者に安心して利用いただけるよう取組みを進めてまいります。
28	公民館利用について高齢者に偏ったものになっている 誰でも利用できる魅力作りを。	□ その他 「公民館だより」や、ホームページ「まなびアイふくおか」などを通じて、公民館活動を広くお知らせするなど、公民館をどなたにも気軽に利用してもらえるよう努めてまいります。
29	【ソーシャルビジネス】 ソーシャルビジネスが指す業態の範囲、どのように普及啓発していくのか興味があるが、どのようにして情報をキャッチできるのか分からない。	□ その他 福祉、子育て、環境、まちづくりなどにおける多様な社会・地域の問題の解決に向けて、ソーシャルビジネスなど多様な手法やつながりによる社会課題の解決に取り組んでまいります。 いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。
分野別目標3 安全・安心で良好な生活環境が確保されている		
30	【消防・防災】 夜間の救急車・消防車について、サイレンの音量を下げしてほしいです。	□ その他 道路交通法において、救急車や消防車が緊急走行する場合には、サイレンを吹鳴し、かつ赤色の警光灯をつけなければならないと定められており、サイレンの音の大きさは自動車の前方20mの位置で90デシベル以上120デシベル以下とされております。深夜等で交通量が少なく緊急走行に支障がないと判断される場合等には、この範囲内でサイレンの音量を切り替えるなど、工夫して走行しています。 消防自動車の緊急走行に対する、御理解と御協力をお願いします。
31	近年では数十年に1度と言われるような豪雨災害が毎年のように国内各地で発生しており、防災・減災への対策は非常に重要と考えます。災害発生時には行政だけでなく市民や関係機関と連携するなどオール福岡市で対応する体制づくりをお願いしたいです。	□ 記載あり 施策3-1「災害に強いまちづくり」に記載のとおり、災害対策本部機能や物資輸送体制、避難所運営体制の強化など、市民や関係機関との連携を強化し、防災・危機管理体制の充実・強化に努めてまいります。

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
分野別目標3 安全・安心で良好な生活環境が確保されている		
32	【消防・防災】 自主防災活動の推進 市民の多くとの距離感のある自治協議会では効果？ 消防局に事務職員を増強する、消防団に企業、公組織特に教職員の参加が不可欠	□ その他 災害対応においては、自助、共助、公助の三つが必要であり、自治協議会のみならず、地域防災リーダーの育成や自主防災組織の活動支援など、自主防災活動の促進に取り組んでまいります。 また、地域防災のサポート体制の更なる強化に努めるとともに、消防団員の確保に向けて、入団促進に引き続き取り組んでまいります。
33	【無電柱化】 私の地域では無電柱化が実施され、景観が格段によくなった。防災の観点からも、無電柱化を積極的に進めてもらいたい。	□ 記載あり 施策3-1「災害に強いまちづくり」に記載のとおり、景観形成、防災、安全・円滑な交通確保などのため、「福岡市無電柱化推進計画」に基づき、総合的かつ計画的な推進に取り組んでまいります。
34	【治水対策】 近年、豪雨や猛暑などの気象災害が国内外で激甚化・頻発化し、今後さらに被害が激化していくことが危惧されることを踏まえ、河川の堤防決壊を防止するための堤防補強等の対策についても、福岡県等と連携して取り組んでほしい。	□ 記載あり 施策3-2「安全で快適な生活基盤の整備」に記載のとおり、市民の生命と財産を守るため、都市基盤河川改修事業や準用河川改修事業に取り組むとともに、県が管理する河川についても、適切な維持管理及び河川改修の促進について、継続して要望してまいります。
35	【道路環境整備】 パーソナルモビリティ等の新しいサービスが生まれる事は個人的に歓迎ですが、利用者は道路のどこを走ったら良いか認識していない状況で普及が進むことは危険かと思いますので、新しいルールを踏まえた道路環境整備（特に通行部分の明示）、住民への啓発、安全確保対策をお願いしたいです。	□ その他 多様なモビリティに対応した道路整備や住民への啓発につきましては、国の検討状況を踏まえ、適切に対応してまいります。
36	【自転車マナー】 自転車が歩道をスピード出して走るなど、ひやりとする場面があるため、マナー向上に向けた啓発に力を入れてもらいたい。	□ 記載あり 施策3-4「ルールが守られ、人にやさしい安全なまちづくり」に記載のとおり、自転車走行マナー向上に向け、今後とも関係機関・団体、地域等と連携し、安全利用の啓発等に取り組んでまいります。
37	自転車 屋外広告啓発しかない。県警の取締りが少ない。道路交通法に違反が認知されていない走行運転者、通行妨害業者への対策がない。	
38	デリバリー自転車がひどい。道交法を守らない。コロナ禍での飲食店を通した支援は考えるべき。	

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
分野別目標3 安全・安心で良好な生活環境が確保されている		
39	【繁華街対策】 客引、勧誘の迷惑、西通り、大名、博多駅筑紫口でも問題。県警との取締りを、市で行なう指導は意味がない	<input type="checkbox"/> その他 客引き対策指導員による注意・指導のほか、県警や地域、飲食店と連携し、店と来街者双方が悪質・迷惑な客引きを利用しないという社会認識が深まるよう、改善に向けて取り組んでまいります。
40	【水の安定供給】 施策3-6 安全で良質な水資源の安定供給には東西側の自治体との連携に軸足移すべき 筑後川水系はさきの水害で広域、甚大な影響で国が取り組むべきで水道局は距離を置くべき 小手先の政策と成果指標では水道料さえ高騰の危険さ	<input type="checkbox"/> その他 安定した水を供給できるよう、「五ヶ山ダム」や「海の中道奈多海水淡水化センター」など、様々な水資源の確保に取り組んできました。いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます。
41	【感染症対策】 新型コロナウイルス感染症対策については、今般ワクチンが開発されたことを踏まえ、医療機関や保健所等の負担軽減に向けた抜本的な解決策として、感染症法に基づく指定感染症（2類感染症相当）指定をインフルエンザと同等の5類感染症へ見直しするよう国に提言することも検討してほしい。	<input type="checkbox"/> その他 いただいたご意見につきまして、今後の感染動向やワクチンの効果を踏まえた感染症対策への取り組みの参考とさせていただきます。
42	新型コロナウイルス対策については、ワクチン接種等に向けてよく頑張っていたいただいていると感じています。まずは、今回のコロナウイルスに対する対応が第一だと思いますが、今後は、市民が安心して暮らせることを目標とし、保健関係の部署やまちづくり等の部署がうまく連携して、新たな感染症等にも円滑に対応できるような都市となることを目指してほしいと思います。	<input type="checkbox"/> その他 新型コロナウイルスへの対応を踏まえ、今後新たな感染症が発生した場合等に適切に対応できる体制の構築に努めるとともに、新しい生活様式にも対応した安全安心で魅力的なまちづくりに取り組んでまいります。
43	コロナ下において、感染症対応シティの取り組みを推進してほしい。	<input type="checkbox"/> その他 新たな感染症の発生にも備え、「感染症に強いまちづくり」を進めていくことが重要であると考えており、今後とも感染症対応シティとしての取り組みを進めてまいります。
分野別目標4 人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている		
44	【再生可能エネルギー】 再生可能エネルギー等の導入については、利用の呼びかけにとどまらず、市役所で積極的に導入するとともに、市民・事業者への補助等による導入促進を進めるべき。	<input type="checkbox"/> 記載あり 施策4-1「地球温暖化対策の推進と自立分散型エネルギー社会の構築」の施策事業体系に記載のとおり、再生可能エネルギーの導入につきましては、上下水道施設をはじめ学校、公民館など公共施設においても進めており、引き続き、新築・改築の機会を捉えて導入を進めてまいります。 また、市民向けに、太陽光発電の設置を条件として蓄電池等への助成を行い、住宅用エネルギーシステムの導入を促進しております。

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
分野別目標4 人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている		
45	<p>【福岡エコ運動】</p> <p>福岡エコ運動について、協力店の増加だけではもったいないため、協力店マップの普及など店選びにエコ運動の情報が活用できるようにして欲しい。また、自治体との連携により子ども食堂などのフードロス活用の道を確保することも必要なのではないかな。</p>	<p>□ その他</p> <p>福岡エコ運動につきましては、協力店の情報を市HPに掲載し、食品ロス削減に取り組む店舗であることを周知しており、引き続き協力店の魅力向上及び利用促進につながるPRを行ってまいります。</p> <p>また、売れ残り等の未利用食品につきましては、必要とする方に無償で食品を配布するフードバンク活動を行う団体との連携により、食品ロスの削減に繋げてまいります。</p>
46	<p>【一人一花運動】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で日本全体が暗いムードになっているが、こんな時だからこそ、街中を花で彩る一人一花運動でみんなが少しでも元気づけられることを期待します。民間企業や市民を巻き込んだ継続的な取組みをお願いします。</p>	<p>□ 記載あり</p> <p>施策4-3「生物多様性の保全とみどりの創出」に記載のとおり、「一人一花運動」の輪を広げ、花による共創のまちづくりを継続的に進めてまいります。</p>
47	<p>【七隈線沿線のまちづくり】</p> <p>橋本駅周辺は、交通の利便性も良く、少し離れると自然が豊かな場所でもある。七隈線延伸に伴い、さらに利便性の向上も期待できることから、少子高齢化が進む中で今以上に住みやすいまちとなるよう期待している。併せて、歩道や道路の整備もしっかりと推進していただきたい。</p>	<p>□ 記載あり</p> <p>施策4-4「まちと自然が調和した福岡型のコンパクトな都市づくり」に記載のとおり、土地区画整理事業による面的な基盤整備など、橋本駅を中心としたまちづくりの支援・誘導などを行ってまいります。</p>
48	<p>【動物園】</p> <p>九州内で展示されていないような種類の動物を受け入れられるように、魅力ある動物園になるよう取り組んでいただきたい。</p>	<p>□ その他</p> <p>希少種の増加に伴い、ワシントン条約など国際取引の規制が強化されるなど、動物をとりまく状況が変化しております。このような状況を踏まえ、動物福祉に配慮したハード及びソフト面の環境を整備するとともに、調査研究、環境教育への取組みを強化し、市民に親しまれる動植物園への再生に取り組んでまいります。</p>
49	<p>長年、家族で動物園を楽しませてもらっています。最近は動物が減ってしまったように感じますが、今後も魅力ある動物園になるよう、よろしくお願いたします。</p>	
50	<p>【地下鉄七隈線延伸】</p> <p>七隈線が延伸すれば、生活範囲が広がり、生活の利便性が大きく向上すると思います。令和4年度の開業に間に合うよう安全第一で事業の推進をお願いします。</p>	<p>□ 記載あり</p> <p>施策4-5「公共交通を主軸とした総合交通体系の構築」に記載のとおり、安全対策に万全を期しながら、令和4年度の開業に向けて着実に事業を進めてまいります。</p>

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
分野別目標4 人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている		
51	<p>【地域間格差】</p> <p>近年、都市機能や利便性について、都心部と郊外では格差が大きくなっていると感じますが、新型コロナウイルス感染症の流行でさらに顕著になっているようです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通に関してはバス路線の廃止や減便で、高齢者の割合が多い郊外ほど脆弱になっています。確かに利用者は少なく採算は取れないと思いますが、平等に市民が移動できる手段の確保を検討していただきたいと思います。 ・都心部の人口集中と郊外の過疎化というアンバランスがみられます。災害で都心部が壊滅的な打撃を受けた際にも、郊外にある豊かな資源で市民を支えられるように産業などを育成しておき、災害時も市民の拠り所となるよう投資してほしいと思います。 	<p>□ 記載あり</p> <p>生活交通に関しては、施策4-5「公共交通を主軸とした総合交通体系の構築」に記載のとおり、今後とも、生活交通条例に基づき、バス路線の休廃止に伴い公共交通空白地となる地域において代替交通の運行経費に補助を行うなど、生活交通の確保に取り組んでまいります。</p> <p>また、産業育成に関しては、施策4-4「まちと自然が調和した福岡型のコンパクトな都市づくり」に記載のとおり、人口が集積する都心部に限らず、観光業・農林水産業といった地域産業の振興に取り組むなど、地域特性に応じた持続可能な取組みを進めてまいります。</p>
分野別目標5 磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている		
52	<p>【観光・MICE】</p> <p>今のうちからポストコロナに向けた観光振興について調査分析、検討を進め、感染症が収束した暁には、世界の中から選ばれる都市となるための戦略を立てておく必要があると考える。引き続き、観光・MICEの振興には積極的に取り組んでいただきたい。</p>	<p>□ 記載あり</p> <p>3 重点分野と事業構築の視点 (1) 重点分野「③都市活力を生み出す観光・MICE、都心部機能強化の推進」に記載のとおり、新型コロナウイルス感染症の状況、社会情勢及びニーズ等を踏まえ、受入環境の充実や都市の魅力発信など、観光・MICEの振興に取り組んでまいります。いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>
53	<p>新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けて全力を注がれている職員の皆様に感謝しています。</p> <p>コロナ収束の兆しが見えたところで、福岡市の強みを生かして、他都市に先んじて魅力ある観光施策やスポーツ施策を打ち出せるように、大変でしょうが水面下で準備をしていただけると良いと思っています。</p>	<p>□ その他</p> <p>観光・MICEの推進及びスポーツ・レクリエーションの振興につきましては、新型コロナウイルス感染症の状況、社会情勢及びニーズ等を踏まえ取り組んでまいります。いただいたご意見は今後の観光施策、スポーツ施策推進の参考とさせていただきます。</p>
54	<p>福岡市には、県外から来た友人などを連れていけるような観光スポットが不足している。新型コロナウイルス収束後を見据え、観光施策には引き続き取り組んでもらいたい。</p>	<p>□ 記載あり</p> <p>施策5-1「観光資源となる魅力の再発見と磨き上げ」に記載のとおり、祭りや歴史文化資源など、福岡市が有する貴重な観光資源を活かし、観光エリアとしての魅力向上や集客促進、福岡ブランドの構築等に取り組んでまいります。</p>

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
分野別目標5 磨かれた魅力に、さまざまな人がひきつけられている		
55	【観光・MICE】 櫛田神社あたりは石畳風の道路整備がされて、風情が出て、雰囲気がとてもよくなった。新型コロナの影響で交流が難しい状況にはなっているが、こうした取組みは是非とも続けてもらいたい。	<input type="checkbox"/> 記載あり 施策5-1「観光資源となる魅力の再発見と磨き上げ」に記載のとおり、「博多旧市街プロジェクト」として、歴史・伝統・文化など価値ある資源をストーリーとまちなみでつなぎ、市民や観光客が認知し楽しんでもらえる環境を整え、博多部の魅力を高めていく取組みを進めています。引き続き、歴史資源や名所をつなぎ、趣のある道路として再整備に取り組んでまいります。
56	コロナ禍での交流人口増加は非常に難しい課題だと思うが、新しい生活様式を踏まえた新たな交流人口増加の手法について引き続き取り組んでほしい。	<input type="checkbox"/> 記載あり 3 重点分野と事業構築の視点 (1) 重点分野「③都市活力を生み出す観光・MICE、都心部機能強化の推進」に記載のとおり、新型コロナウイルス感染症の状況、社会情勢及びニーズ等を踏まえ、交流人口の段階的な増加に向けた取組みを進めてまいります。
57	【セントラルパーク構想】 ジョギングでよく大濠公園を利用しています。舞鶴公園の一体的な活用でさらなる魅力向上とともに、高齢者などがゆっくり休憩できるような憩いスペースの検討をお願いします。	<input type="checkbox"/> その他 令和元年6月に策定した「セントラルパーク基本計画」に基づき、統一したデザインのサインに更新していくなど両公園の一体的活用によるさらなる魅力向上を図るとともに、園路沿いの木陰などへのベンチ設置を進めております。 今後とも、両公園の特徴を最大限に活かし、市民の憩いの場、歴史や文化・観光の拠点として、さらに魅力的な公園となるよう取り組んでまいります。
58	【世界水泳選手権福岡大会】 新型コロナウイルス感染症の影響で、多くのイベントが中止となったり、暗いムードが漂っている日本にとって、R4nの世界水泳選手権は、多くの人にとって希望の大会となるよう期待しています。	<input type="checkbox"/> その他 福岡、九州のみならず、日本経済に元気と活力を与えるイベントとするため、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、開催に向けた準備に引き続き取り組んでまいります。
59	世界水泳の開催を楽しみにしています。世の中が苦しいときだからこそ、スポーツの力で明るい未来を作ってもらいたいと思います。	
分野別目標6 経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている		
60	【水素リーダー都市プロジェクト】 世界中で脱炭素化に向けた取組みが急激に進められようとしています。抜本的なエネルギー転換が必要であり、その鍵を握るのは水素エネルギーしかないと思います。水素リーダー都市の実現のため、取組みを期待しています。	<input type="checkbox"/> 記載あり 施策6-1「産学官連携による、知識創造型産業の振興」に記載のとおり、下水バイオガスによる水素ステーションを核とした水素を活用する先進的な取組み等を推進します。
61	【商店街】 新型コロナウイルスの影響で、商店街は厳しい状況になっている。経営を継続できるよう、しっかりと支援を行ってほしい。	<input type="checkbox"/> その他 新型コロナウイルス感染症の影響により、経営状況の厳しい商店街をはじめ、市内商店街へ支援に取り組むことで、活性化を図ってまいります。

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
分野別目標6 経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている		
62	【農産物】 TPP11、日欧 EPA、日米貿易協定などの貿易自由化により、国外から大量の農産物が輸入されることが予想されます。市民に安全・安心な農産物が提供されるよう、地域の農業者への支援にしっかりと取り組んでいただきたい。	□ その他 今後とも、安全・安心な市内産農産物が市民に提供されるよう農業者への支援に取り組んでまいります。
63	【油山市民の森等リニューアル】 油山市民の森等をリニューアルするということですが、コロナ下でも3密をあまり気にせず楽しく遊べるように、グランピングやアスレチックなどの施設を整備していただき、素晴らしいリニューアルとなることを期待しています。	□ 記載あり 施策6-4「農林水産業とその関連ビジネスの振興」に記載のとおり、油山市民の森と油山牧場については、市民に親しまれる、さらに魅力ある施設としていくため、リニューアルに取り組んでまいります。
64	【就労支援】 現状値として就業機会の多さに対する満足度が低いことから、本社機能の移転誘致などを通して引き続き就業機会を増やしてほしいと思う。	□ 記載あり 施策6-2「成長分野の企業や本社機能の立地の促進」に記載のとおり、福岡市立地交付金制度などを活用しながら、本社機能や外資系企業、クリエイティブ産業などの、成長性が高い分野の企業誘致を推進してまいります。 また、就労支援の取組みとして、大学や経済団体などと連携した「オンライン合同会社説明会」の開催や、各区に設置している「就労相談窓口」において求職者のニーズに応じたきめ細やかな就職支援を行うなど、求職者と求人企業のマッチング機会の創出に取り組んでまいります。
65	新型コロナウイルスの影響により、新規採用が大きく減少しているとの報道を見た。若者たちが希望を持てるよう、就労支援にしっかりと取り組んでもらいたい。	□ その他 若者などの就労支援については、大学や経済団体などと連携した「オンライン合同会社説明会」の開催や、各区に設置している「就労相談窓口」において求職者のニーズに応じたきめ細やかな就職支援を行うなど、コロナの影響を踏まえながら取り組んでまいります。
分野別目標7 創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している		
66	【スタートアップ】 世界で活躍するスタートアップ企業が福岡市から生まれるよう、引き続き、官民が連携して人的、財政的支援をお願いしたい。	□ 記載あり 施策7-1「新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり」に記載のとおり、国家戦略特区における規制改革の活用や福岡市独自の施策により、世界で活躍するスタートアップ企業が福岡市から生まれるよう、引き続き市内で創業にチャレンジする国内外の創業者に対して支援を行い、創業しやすく、新たなチャレンジを応援する都市の実現を目指してまいります。

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
分野別目標7 創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している		
67	<p>【パーソナルモビリティ】</p> <p>新型コロナウイルスによる感染を防ぐためにも、道路網の強化や公共交通の利便性向上に加え、公共交通機関の混雑や渋滞の緩和にもつながる電動キックボードの普及の検討など、市の交通政策として、今後のパーソナルモビリティの在り方を検討していただきたいです。</p>	<p>□ 記載あり</p> <p>施策7-1「新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり」に記載のとおり、スマートシティ推進事業の一環として、シェア型電動キックボードの実用化支援など、社会課題の解決等につながる民間提案の実証実験を積極的にサポートし、社会実装を支援してまいります。</p> <p>また、新たなモビリティについては、国において交通ルール等のあり方が検討されているところであり、今後の動向等を注視してまいります。</p>
68	<p>【文化芸術】</p> <p>コロナ禍で活動の場を奪われているアーティストに、金銭面や情報発信、活動の場づくりなどについて、支援を継続強化してほしい。</p>	<p>□ その他</p> <p>コロナ下におけるアーティストへの支援につきましては、これまで文化・エンターテインメント施設における映像配信設備の導入、アーティスト等によるウェブ配信動画制作や、実際の会場とオンラインでの動画配信を併用するハイブリッド公演開催に係る支援を行ってまいりました。また、福岡市文化芸術振興財団ホームページに「新型コロナウイルスに関する支援情報」を開設し、市や国の資金面の支援情報等を掲載し、発信してまいりました。</p> <p>引き続き令和3年度もハイブリッド公演の開催支援を継続するとともに、今後ともニーズ等も踏まえながら、必要な支援に努めてまいります。</p>
分野別目標8 国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている		
69	<p>【拠点づくり】</p> <p>施策8-2など 港湾、住宅局 政策間の調整、重要性の吟味、可否の検討が無い 東区に開発案件が重複</p>	<p>□ その他</p> <p>いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
70	<p>【伊都キャンパス周辺のまちづくり】</p> <p>新たに整備された箱物を中心に街づくりを計画することは、従前より多様な居住環境を求めて住まいとしている者にとって必ずしも良好な居住環境とはなっていません。街づくりは、新たに集う人間と新たな組織の属性を踏まえて計画しなければ、都市化は社会性と居住性の低下を招く要因にもなります。大学工事着工前には環境・景観に配慮することをお題目を耳にしましたが、これは大学のピンポイントテーマであったと思います。</p> <p>今から企業や研究機関が張り付くとのことです。街づくりは物づくりではないことを再度ご認識下さい。</p>	<p>□ その他</p> <p>伊都キャンパス周辺につきましては、「活力創造拠点」と位置付け、学生や研究者などが、新たな知を創造し、発信する、研究開発拠点の形成を図ることを目的として取組みを進めております。また、『福岡市景観計画』において、元岡地区を「都市景観形成地区」と位置付け、風格とにぎわいのある通りの形成や緑豊かな住環境の形成に向けた景観誘導を行っております。</p> <p>引き続き、『九州大学学術研究都市構想』の推進に向け、地域や九州大学等と連携して取り組んでまいります。</p>
71	<p>【アクセス道路の整備】</p> <p>糸島ブームも相まって西へ西へと人口を流入させていますが、大学や糸島目的の人は必ずしも道路利用推計通りには通行しません。GPSが一般的になり地元の生活道路や農林道路を通行します。</p> <p>非常時避難も見据えた道路整備は有るべきですが、静かな居住環境が奪われつつあるのもまた事実です。</p> <p>交通量調査は一情報でしかありません。数値だけでなく道路計画対象地の地域特性を熟知されている方の技術情報を持って計画されることに期待致します。</p>	<p>□ その他</p> <p>道路の計画に関しては、都市における円滑な移動の確保や良好な都市空間の形成、街区を形成するための市街地形成を図ることなどを目的として、都市計画道路の計画決定を行っております。</p> <p>引き続き、『福岡市基本計画』や『福岡市都市計画マスタープラン』などを踏まえながら、道路の計画に取り組んでまいります。</p>

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
分野別目標8 国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている		
72	【ゲートウェイづくり】 新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を踏まえると、施策8-4の成果指標として掲げる「外国航路船舶乗降人員」「福岡空港乗降客数」については、目標値を下げることも考えられるのではないかと。	□ 原案どおり 外国航路船舶乗降人員の目標値につきましては、上位計画となる第9次福岡市基本計画における目標値を据え置いて設定しており、また福岡空港乗降客数の目標値につきましては、国が算出している福岡空港の航空需要予測を基に設定しています。 現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、乗降人員・乗降客数は大幅に減少しておりますが、同感染症の収束後を見据えながら、今後とも人流のゲートウェイづくりに取り組んでまいります。
73	【国際】 将来的に、ビジネスや人流という観点で、アジアの中の福岡の存在感を高める取組みは必要だと感じます。 しかしながら、コロナ禍において、海外との交流を積極的に進めることは難しい面もあり、国際的な取組みも大きく変化することが想定されるので、適宜、状況の変化を見ながら取組みを進めていく必要があると思います。	□ 記載あり 3 重点分野と事業構築の視点 (2) 事業構築の視点「視点1：挑む」に記載のとおり、コロナ下においても、オンライン会議などを積極的に活用しつつ、国際情勢の変化等を注視するとともに、柔軟に対応しながら、ビジネスも含めた海外事業展開を推進してまいります。
74	安易なグローバル化 施策8-5 NPO APCCへの支援 8-7釜山広域市との、打ち切りが相当	□ その他 施策8-5NPO法人アジア太平洋こども会議・イン福岡 (APCC) 支援事業は、豊かな語学力・コミュニケーション能力や異文化体験を身に付け、国際的に活躍できるグローバル人材を育成するために重要なものであると考えており、今後ともご理解いただけるよう周知を図ってまいります。 また、その他いただいたご意見についても、今後の参考とさせていただきます。

(3) 区ごとの施策・事業

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
75	【南区】 豊かな緑に恵まれた鴻巣山は、心と身体の健康づくりなどに役立っています。鴻巣山には展望台がありますが、周辺の木々が大きく育ちすぎていたり、遊歩道の整備が十分ではないところもあります。地域の活動にも限界がありますので、市として積極的に環境整備に取り組んでいただければ幸いです。	□ その他 鴻巣山の遊歩道等を安心して利用できるよう、老朽化した施設の再整備を進めております。 また、地域が行う環境活動を支援するとともに、鴻巣山を含む身近な自然環境に親しむことのできる「うるおいとやすらぎ」のあるまちづくりを引き続き進めてまいります。
76	【早良区】 早良区は少し移動すれば脊振山や曲淵ダム、室見川や百道浜海岸などに行けるすばらしい地区です。特に、近年増えつつあるサイクリストやマラソンランナー、トライアスリートにとっては車の多いエリアを通らずにトレーニングしやすい場所まで移動できる魅力ある立地に思いますので、ぜひサイクルツーリズムなどにも力を入れていただきたい。	□ その他 早良区では、早良区の特徴を生かした魅力あるまちづくりを推進しており、令和2年度に「さわらサイクルマップ」を制作しました。今後はマップを活用した事業にも取り組んでまいります。

行政運営プラン

(1) 総論

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
総論		
1	【策定の趣旨】 福岡市の市政運営の総体の評価が必要と考える。具体的には、福岡市の行政運営について、「経営品質診断」などを事前に行い、外部評価を経て、他の自治体とも比較しながら、福岡市の強み・弱みなどを整理の上、それに沿った取り組みを戦略的にプランに位置付けるなどといったアプローチから、プランを策定するのにも一考だったかと思う。	□ その他 全ての分野における施策の基本となる第9次福岡市基本計画策定時に、外部委員からなる福岡市総合計画審議会から、行政運営の基本方針について意見をいただいております。 ご意見については、今後の本プランを推進していくうえでの参考にさせていただきます。
2	【実施状況】 特に総務企画局の取り組みは本当に概ね順調なのか。	□ その他 実行項目の9割以上において計画どおり進捗したため、概ね順調としております。各実行項目の実施状況はホームページで公表しております。
3	【実行項目】 新型コロナウイルスの影響はまだまだ不透明であり、一方で、新しい生活様式に対応した新しい市役所が求められている今、新しいプランの策定はとても重要なことだと思う。デジタルトランスフォーメーションの導入、市民サービスの拡充、コンプライアンスの推進など、プランに掲げられた取り組みを着実に推進されることを期待する。	□ 記載あり 進捗管理については、7頁に記載のとおり、具体的な取り組み内容を定めた実行項目に基づき個別の取り組みを推進し、その進捗状況をフォローアップのうえ毎年度公表するとともに、随時見直しを行うことで、着実に推進してまいります。

(2) 取組方針及び推進項目等

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
【取組方針1】《スマート》迅速で便利なサービスへの転換		
4	【行政手続きのデジタル化・オンライン化】 新型コロナの収束後も、新たな感染症や働き方改革、超高齢社会に対応するため、先進テクノロジーの活用に積極的にチャレンジしてほしい。	□ 記載あり 今後も社会経済情勢の変化や、市民ニーズの多様化による行政需要の増加が見込まれており、4頁に記載のとおり、行政手続きのデジタル化・オンライン化や、AIやIoTなど先進技術の活用に取り組み、迅速で便利なサービスへの転換を進めてまいります。
5	スマートフォンやパソコン、ファクシミリを持っていることが前提となっているが、これらの機器を個人的に持っていない人（持つ気の無い人、持てない人）への対応についても示すべきではないか。	□ 記載あり 取組方針において「スマート」と「ぬくもり」をサービスの両輪として掲げており、スマートフォンなどを利用する方に限らず、5頁に記載のとおり、多様なニーズに寄り添うサービスの提供を推進してまいります。

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
【取組方針1】《スマート》迅速で便利なサービスへの転換		
6	<p>【行政手続きのデジタル化・オンライン化】</p> <p>デジタル社会に適應できない高齢者等が孤立化することがないように、地域や企業、学校等と連携して取り組んでほしい。</p>	<p>□ 記載あり</p> <p>4、5頁に記載のとおり、行政手続きや市民サービスのデジタル化、オンライン化などの取組みを推進するとともに、市民一人ひとりのニーズに寄り添い、ぬくもりのある、これからの時代にふさわしいサービスの提供に努めてまいります。</p> <p>例えば、10頁に記載のとおり、令和3年度は、各公民館においてオンライン申請相談会等の実施を予定しております。</p> <p>ご意見を参考に、引き続き、取り組んでまいります。</p>
7	<p>オンライン手続きについて、便利な一方で、高齢者の方からは、ついていけないという話も聞く。今はオンラインに慣れるまでの移行期間だと思うので、市民一人ひとりの状況に合わせたぬくもりのある対応をしていただきたい。</p>	
8	<p>市ホームページの「福岡市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例（案）」をみたが実行は難しいのでは。まず現状の条例や規則を法的にも整合性の在るものにしないといくらデジタルシステムを進めても効果はない。印鑑押印を減らしても迅速とか利便性になる部分は少ない。</p>	<p>□ その他</p> <p>福岡市では、現在、行政手続きや市民サービスのデジタル化、オンライン化等の取組みを積極的に進めております。その一環として、行政手続きをオンラインにより行うことができるようにするための共通する事項を定める、「福岡市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例（案）」の制定を目指しております。今後とも、来庁の必要のないノンストップ行政の実現に向け、市民の利便性の向上に加え、業務の効率性・生産性を高めるため、取組みを推進してまいります。</p>
9	<p>引っ越し手続きがオンラインで予約できることは便利ではあるが、あらかじめ必要な書類があること、予約日の5営業日前に予約を完了させておく必要があることなど、利用するにあたっての情報がわかりにくく利用者にとってそれほど便利なサービスとして機能しているとは言えない。</p>	<p>□ その他</p> <p>各手続きの事前準備等のため、予約日の5営業日前に申請していただく必要はございますが、入力画面をよりわかりやすくするなど、誰もが簡単に手続きができるよう改善してまいります。</p>
10	<p>母子保健オンライン相談等事業の推進について、コロナ感染を懸念して、家庭訪問やセミナー受講を躊躇しているため、オンラインでの実施はありがたい。</p>	<p>□ その他</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮した、オンライン相談支援体制の構築を進めてまいります。</p>
11	<p>【AIやIoTなど先進技術の活用】</p> <p>チャットボットを活用した問合せ対応について、LINEのチャットボットを利用し、便利さを実感している。対応分野の拡大にも期待している。</p>	<p>□ 記載あり</p> <p>14頁に記載のとおり、引き続き、対応分野の拡大についても検討してまいります。</p>
12	<p>ケアプランは介護費用削減と介護効果向上で介護保険高騰回避必須。ケアプランの作成は自社養護施設や機材のレンタル斡旋に留まっている印象である。行政のデータ活用は見れない。</p>	<p>□ その他</p> <p>いただいたご意見を今後の参考とさせていただき、介護予防等に資するシステムを構築してまいります。</p>

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
【取組方針1】《スマート》迅速で便利なサービスへの転換		
13	【AIやIoTなど先進技術の活用】 AIチャットボットを活用した粗大ごみ収集受付の推進について、工程の中に「他のペイメントについての調査・研究」とあるが、ペイメントの意味が分からないため、脚注などで説明があるともっとわかりやすくなるのではないかと。	■ 修正 ご意見を踏まえ、以下のとおり修正します。 <修正前>他のペイメントについての調査・研究 <修正後>他のオンライン決済サービスについての調査・研究
【取組方針2】《ぬくもり》多様なニーズに寄り添うサービスの提供		
14	【市民とのコミュニケーション推進と区役所等のサービス拡充】 ユニバーサルデザインはまずゴミ捨てのパンフレットの色使いから始めて欲しい。男性の7パーセントは色覚に異常があると言われていて色が塗ってあれば区別できるものではない。	□ 記載あり 18頁に記載のとおり、職員研修等を実施し、職員のユニバーサルデザインに配慮した情報発信への意識の向上に努めてまいります。
15	【市民や企業などとの共働・連携】 これからの時代の社会を支えるためには、行政の力、税金の財源だけでできることには限界があり、企業やNPO、コミュニティなどとの共働、連携がより必要になると思う。また、多様な主体が支えあうことが、社会としてのあたたかさを生み出しているのではないかとも思う。ぜひ、「市民一人ひとりのニーズに寄り添い、多様な主体と共働・連携しながら、ぬくもりのあるサービスを提供します」のような形で、多様な主体との連携を強調してほしい。	□ 原案どおり 「多様な主体との連携」は、ぬくもりのあるサービスを提供していくための有力なひとつの手段として推進項目④に掲げ、着実に取り組むこととしております。ご意見は今後の参考とさせていただきます。
16	温暖化対策のための実践活動の促進について、指標の「家庭部門における世帯あたりのエネルギー消費量[GJ/世帯]」とあるが、GJも親しみのない単位なので、脚注などで説明があるともっとわかりやすくなるのではないかと。	■ 修正 ご意見を踏まえ、脚注に以下のとおり加筆します。 GJ：[ギガジュール]：ジュールは、1ワットの電力を1秒間流した時の電力量に相当するエネルギー量のこと。 <1ギガジュール(GJ)=10億ジュール(J)> 例えば、1ギガジュールはガソリン約29リットルのエネルギー量に相当する。
17	投票の練習は政治に目を向けさせるために大きな意味を持たないと思う。より若者の意欲を掻き立てる内容を取り入れ、公平に行われるべき選挙の重要性を教えていくべきではないかと。	□ その他 選挙出前授業は、実際の投票器材等を用いた模擬選挙と選挙や政治の大切さを伝える講義を行っており、普段選挙や政治とあまり接点のない若者に興味・関心を持ってもらうきっかけとして有効だと考えています。 いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます、若者がより意欲的に取り組める内容となるよう、引き続き出前授業の充実に取り組んでまいります。

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
【取組方針3】《しなやか》変化に柔軟に適応する組織づくり		
18	<p>【業務の効率性・生産性の向上】</p> <p>Web会議、モバイルワークの推進をよりすすめてほしい。</p>	<p>□ 記載あり</p> <p>41頁に記載のとおり、庁内ICT環境を整備し、Web会議とモバイルワークを活用した業務の効率化・生産性の向上を推進してまいります。</p>
19	<p>市職員各個人の判断能力ではWeb会議を使っても生産性向上は見込めない。市民はリスクをおかしても家から出て仕事とさせざるを得ない。</p>	<p>□ その他</p> <p>Web会議とモバイルワークの活用は、移動時間の削減や外勤先や出張先での空き時間の有効活用効果、紙資料の電子化によるコスト削減効果等が期待でき、意思決定の迅速化、等の効果も期待できるなど、生産性向上が見込まれるものと考えております。</p>
20	<p>早良区のICTを活用した「立ち入り調査」の業務効率化は効果が疑問である。</p>	<p>□ その他</p> <p>従前から課題であった衛生監視等における施設立入調査業務の効率化を行うため、手作業で行っていた一部作業にICTを活用したシステムを利用することで、作業時間を短縮し、生産性を向上させます。今後ともICTの活用や業務の見直しなどに取り組み、業務の効率性と生産性を高めてまいります。</p>
21	<p>【コンプライアンス 推進と組織活性化】</p> <p>地方自治体を取り巻く状況の変化はスピードを増しており、刻々と変化する行政需要に的確かつ迅速に対応することが求められていると思う。「変化に柔軟に『適応』する」ではなく、「変化に柔軟に『対応』する」と言ってもよろしいのではないか。受け身的に「適応」するのではなく、主体的に「対応」する地方自治体としての姿勢がより市民に伝わるのではないか。</p>	<p>□ 原案どおり</p> <p>「適応」は、生物が環境変化の中で進化していく場合にも用いられることから、既存の考え方にとらわれず更新していくしなやかさを表現する言葉として用いているものです。ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>
22	<p>飲酒だけではなくコンプライアンス違反について、公務員資格を得る時点で誓約書を提出させ、一度飲酒運転すれば解雇するなど、わかりやすい緊張感を公務員の入り口で福岡市が全国に先駆けて実行すれば良い。率先する姿で市民にも緊張感を伝えてほしい。</p>	<p>□ 記載あり</p> <p>福岡市では、飲酒運転の事案については原則、懲戒免職とするなど厳しく対応しております。また、46頁に記載のとおり、コンプライアンス推進については、飲酒運転等不祥事再発防止アクションプランに基づき、各局・区において、飲酒運転をはじめ、コンプライアンスに関する研修を実施するなどの取り組みを引き続き行い、職員一人ひとりが自分ごととして主体的に取り組むことで、不祥事発生の防止に努めてまいります。</p>
23	<p>コンプライアンス推進と組織活性化は飲酒運転や盗撮防止をやってるだけでは市民の信頼に繋がらない。</p>	

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
【取組方針3】《しなやか》変化に柔軟に適応する組織づくり		
24	<p>【コンプライアンス 推進と組織活性化】</p> <p>このようなプランを実行していくためには、行政のマンパワーが必要である。</p> <p>定数削減を成果・目標として掲げるのではなく、施策を拡充していくのであれば、増員も行い、必要な人員を必要な箇所に割り当てるなど、マンパワーを確保していくべき。そうすれば、雇用の創出にも繋がる。</p>	<p>□ その他</p> <p>様々な行政課題に柔軟かつ機動的に対応できるよう、条例定数の削減目標は定めておりません。</p> <p>組織体制の構築にあたっては、ICTや民間の活用などにより既存組織の見直しを図りつつ、市民の暮らしに身近な「こども」「教育」「福祉」「安全・安心」などの分野へ、必要な人員を振り向けるなど、業務の質と量に応じた適切な職員配置に取り組んでまいります。</p>
25	<p>柔軟かつ機動的な組織体制の構築について、市民ニーズが多様化し、様々な行政課題が山積する中で、豪雨などの気象災害やコロナ対策等の緊急事態にも柔軟かつ機動的に対応するには、平時からある程度余裕を持った職員数を確保しておく必要がある。条例定数の削減を目標とせず、組織間のバックアップ体制が構築できるよう、十分な職員数を確保するよう取り組んでほしい。</p>	
26	<p>職員の意欲が低い。納期、コスト意識がない。何度も指摘したが進まない。職員の賃金に見合っていない。特に、ベテラン職員等を感じる。</p>	<p>□ その他</p> <p>福岡市では、各階層において生産性や仕事の成果を高めることを目的とした研修を実施しているところであり、引き続き自ら考え行動し、様々な行政課題解決に向けて果敢にそして着実にチャレンジする職員の育成に取り組んでまいります。</p>
27	<p>歴史や法律、判例、電子や工学知識など行政運営に必要な幅広い知識を全ての職員が持って初めて変化に柔軟に適応できる組織づくりができる。職員に学習するスタンスが無い。</p>	<p>□ 記載あり</p> <p>50頁に記載のとおり、社会経済情勢や市民ニーズの変化などにスピード感を持って的確に対応する組織運営体制を確立するため、引き続き「自ら考え、自らチャレンジする職員」の育成に取り組み、更なる組織の活性化を図ってまいります。</p>

財政運営プラン

(1) 総論

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
総論		
<p>1</p> <p>2</p> <p>3</p> <p>4</p> <p>5</p> <p>6</p> <p>7</p> <p>8</p> <p>9</p>	<p>【全体】</p> <p>今後老年人口が増加していく中で、健全な財政運営を継続してほしい。</p> <p>将来世代にできるだけ負担を残さないように、財政運営プランに沿った取り組みを進め、規律を保った財政運営をしてほしい。</p> <p>将来世代に過大な負担を残すことのないよう、財政運営プランに基づく取組みを推進してほしい。</p> <p>将来にわたって持続可能な財政運営に向けて、着実に取り組んでほしい。</p> <p>今後も福岡市が繁栄していくため、都市の成長に必要な施策をしっかりと行ってほしい。</p> <p>将来を担う世代に大きな負担を残さないよう、借金を抑えつつも、福岡市の魅力や活力を維持できるようバランスのとれた財政運営をしてほしい。</p> <p>逆境にあっても、プランに基づき最適な財政運営を目指してベストを尽くしてほしい。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大に伴い大幅な税収の減が見込まれる状況であるが、高齢者や障がい者等の社会保障費の確保にしっかりと取り組んでほしい。</p> <p>健康増進施策等により、医療、介護需要を減らす取り組みをより一層行い、財政運営面での、持続可能性の確保に取り組んでほしい。</p>	<p>□ 記載あり</p> <p>本市財政の見通しを踏まえ、市民生活に必要な行政サービスを安定的に提供しつつ、重要施策の推進や新たな課題に対応するために必要な財源を確保できるよう、政策推進プランに基づき投資の選択と集中を図るとともに、歳入の積極的な確保や行政運営の効率化、既存事業の見直しなど徹底した事業の選択と集中や不断の改善に取り組みます。</p> <p>また、中長期的に、「生活の質の向上」と「都市の成長」のために必要な施策事業の推進により税源の涵養を図りつつ、超高齢社会に対応する持続可能な仕組みづくりやアセットマネジメントの推進、市債残高の縮減に向けた市債発行の抑制などにより、将来にわたり持続可能な財政運営に取り組みます。</p> <p>□ 原案どおり</p> <p>健康増進施策等については、政策推進プラン「施策1-3 一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり」に記載されています。</p> <p>財政運営プランと、政策推進プラン及び行政運営プランを一体的に推進することにより、選択と集中による重点化を図りながら、将来にわたり持続可能な財政運営に取り組みます。</p>
<p>10</p>	<p>【その他】</p> <p>折れ線グラフは直線と破線の組み合わせとしたり、棒グラフは色だけでなく、斜線や格子線等を使って、わかりやすくしてほしい。</p>	<p>■ 修正</p> <p>ご意見を踏まえ、グラフを斜線等を使ってわかりやすく修正します。</p>

(2) 主な取組み

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
主な取組み		
<p>11</p> <p>12</p> <p>13</p> <p>14</p> <p>15</p> <p>16</p>	<p>【歳入の積極的な確保】</p> <p>市税以外の部分でも積極的な歳入確保に努めてほしい。</p> <p>市営住宅使用料や学校給食費、保育料などの税外債権についても、応益負担や公平性の観点から、その滞納者に対して毅然とした対応に努めてほしい。</p> <p>災害など想定外の事態が起きた場合に備えて、基金を積み立てておくべき。</p> <p>自然災害以外にも様々な不測の事態があるため、市の貯金を取り崩して対応できるよう、常にその蓄えを持っておくべき。</p> <p>新型コロナウイルスなどの感染症、豪雨や地震などの大規模災害などに備えて、迅速かつ柔軟に対応できるよう財源を確保しておくべき。</p> <p>新型コロナウイルスのように予測していなかった事態に対して、確実に対応できるような備えをすべき。</p>	<p>□ 記載あり</p> <p>税外債権について、民間事業者の活用などを図りながら、滞納発生の未然防止、初期滞納対策、累積滞納の整理等を適切に進め、全庁的な債権管理の推進に取り組みます。</p> <p>また、市有財産を最適な手法により効果的に活用するなど、財源の確保に取り組みます。</p> <p>■ 修正</p> <p>ご意見を踏まえ、「②市有財産の有効活用等による財源の確保」を以下のとおり修正します。</p> <p><修正前></p> <p>②市有財産の有効活用等による財源の確保 市有財産を最適な手法により効果的に活用するなど、財源の確保に取り組みます。</p> <p><修正後></p> <p>②市有財産の有効活用等による財源の確保 市有財産を最適な手法により効果的に活用するなど、財源の確保に取り組みます。また、経済情勢の変動により財源が不足する場合や、災害発生などにより緊急に支出が必要な場合に備えるため、財政調整基金の確保に努めます。</p>
<p>17</p>	<p>【ふくおか応援寄付の推進】</p> <p>今後とも、より利用しやすい「ふくおか応援寄付」にしてほしい。</p>	<p>□ 記載あり</p> <p>寄附メニューや魅力ある返礼品の充実により本市のPR強化に取り組むとともに、決済手段の多様化等寄附者の利便性向上に努めるなど、「ふくおか応援寄付」の推進を図ります。</p>
<p>18</p>	<p>【モーターボート競走事業会計の収益の確保】</p> <p>福岡ボートにも更なる増収に努めてもらい、福岡市の財源確保に貢献してほしい。</p>	<p>□ 記載あり</p> <p>「ボートレース福岡経営計画」に基づき、売上の向上と経営改善に取り組み、一般会計への繰出金の確保に努めます。</p>
<p>19</p>	<p>【外郭団体等の見直し】</p> <p>外郭団体の見直しでは、外郭団体を有効に活用するという視点も入れるべき。</p>	<p>□ 記載あり</p> <p>「外郭団体のあり方に関する指針」に基づき、各団体の実施する事業の必要性や経済性、効率性、外郭団体のメリットが十分に発揮されているかなどについて、検証・見直しを行います。</p>

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
主な取組み		
20	<p>【ガイドラインに沿った補助金の適切な運用】 外郭団体以外も連続して補助している先は成果をチェックしてほしい。</p>	<p>■ 修正 ご意見を踏まえ、ガイドラインに沿った補助金の適切な運用について、わかりやすく表現するため、下記のとおり修正します。</p> <p><修正前> ①ガイドラインに沿った補助金の適切な運用 補助金交付規則及び福岡市補助金ガイドラインに基づき、補助金交付事務を適切に実施するとともに、終期の設定や毎年度の補助金調書の公表など、適切な運用に努めます。</p> <p><修正後> ①ガイドラインに沿った補助金の適切な運用 補助金交付規則及び福岡市補助金ガイドラインに基づき、補助金交付事務を適切に実施するとともに、毎年度の補助効果の検証や補助金調書の公表、終期到来時における継続の必要性の検証など、適切な運用に努めます。</p>
21	<p>補助金は長年継続的に交付されている団体もあると思われることから、補助金交付の効果の検証などを行って補助の必要性を確認してほしい。</p>	
22	<p>【国・県との財政負担の適正化】 福岡市の経費負担が適正なものとなるよう、福岡県に対する要望活動はしっかりと実施してほしい。</p>	<p>□ 記載あり 指定都市のみが県補助金の対象外となっているもの、国・県にも関わる事務事業で財政措置が十分でないものなどについて、経費負担が適正なものとなるよう取扱いの見直しや改善を求めます。</p>
23	<p>他の市町村と同様の県税負担をしている福岡市民の公平性が損なわれないよう、医療費支給制度の県負担金の確保を実現すべき。</p>	<p>□ 記載あり 医療費支給制度における県費補助の適用や補助率の引き上げ（重度障がい者医療の精神以外への補助拡大等）について、県内他市町村並みとするよう、福岡県に対して要望活動を継続します。</p>
24	<p>県に対する要望については、北九州市とも協力しながら行うなど、効果的に取り組んでほしい。</p>	<p>□ 原案どおり 取組み内容に応じて、北九州市や政令市と連携し、福岡県や国に対して要望活動を継続します。</p>
25	<p>【使用料等における受益者負担の適正化】 受益者負担の適正化は、公平性の観点などからもどんどん進めていくべき。</p>	<p>□ 記載あり 使用料等における受益者負担の適正化については、施設の特性に応じた適正利用の推進や公平性の確保などの観点を踏まえた取組みを進めます。</p>
26	<p>港湾と道路と住宅は、地代及び占用料を中心に、受益者負担の見直しを徹底してほしい。</p>	
27	<p>公共施設の付設駐車場の有料化について、適正利用を促す効果があり、受益の観点からも実施すべき。</p>	

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
主な取組み		
28	【施設の維持管理コストの縮減】 施設の維持管理コストの縮減について、縮減によってサービスの質が低下しないようにしてほしい。	<input type="checkbox"/> 記載あり 指定管理者制度の活用など民間活力の導入などにより、良質な公共サービスを持続的に提供しつつ、施設の維持管理コストの縮減に努めます。
29	【公園照明灯のLED化】 公園照明灯のLED化を積極的に推進して欲しい。道路照明灯のように民間資金を活用した一括LED化ができるとう良い。	<input type="checkbox"/> 記載あり 公園照明灯のLED化による修繕料・電力量の縮減を図ります。整備手法については、施設の特性等に応じた適切な手法を検討してまいります。
30	【油山市民の森および油山牧場の運営手法の見直し】 油山市民の森及び油山牧場については事業縮小を図るとともに、油山に道標を整備してほしい。	<input type="checkbox"/> 原案どおり 油山市民の森及び油山牧場の一体運営により、施設の維持管理コストの縮減に努めるとともに、民間活力の導入により、さらに魅力ある施設となるよう取り組みます。その他のご意見については、参考とさせていただきます。
31	【施設の老朽化への適切な対応】 市民生活に必要な公共施設の老朽化については、今後も安心して快適に利用できるよう改修などの必要な対策を十分に行ってほしい。	<input type="checkbox"/> 記載あり 市民が市有施設を安全・安心に利用できるよう維持し、良質な公共サービスを持続的に提供していくため、「福岡市アセットマネジメント基本方針」や「官民協働事業（PPP）への取組方針」に基づく取組みを推進します。
32	市有建築物について、更新の時には単純な建て替えではなく、統合等による総資産の圧縮も積極的に導入してほしい。	<input type="checkbox"/> 記載あり 既存施設や土地については、用途廃止や施設の統合も含めた資産の有効活用を推進し、効果的な市民サービスの提供を図ります。
33	施設の老朽化対策や更新にあたっては、人口減少社会を見据えた必要性の判断も併せて行ってほしい。	

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
主な取組み		
34	【市債発行の抑制、市債残高の縮減】 市債残高の縮減は、引き続き、着実に進めていくべき。	<input type="checkbox"/> 記載あり 政策推進プランに基づく投資の選択と集中により、市債発行の抑制を図るなどして、将来世代へ過度な負担を残さないよう長期的な市債残高の縮減、公債費負担及び将来負担の軽減に取り組みます。
35	民間では複式簿記の考えが一般的であり、地方公共団体も新公会計制度が導入されることから、それらの視点を踏まえた目標設定も今後検討してほしい。	<input type="checkbox"/> 原案どおり 統一的な基準による地方公会計については、平成28年度決算から公表を行っているところであり、国の動向も踏まえながら、対応してまいります。 ご意見については、参考とさせていただきます。
36	臨時財政対策債の発行抑制はよいと思うが、本来配分されるべき地方交付税を臨時財政対策債ではなく、交付税で交付するよう国に対して要望してほしい。	<input type="checkbox"/> 原案どおり 市債残高の縮減に向けては、臨時財政対策債の発行を可能な限り抑制するとともに、臨時財政対策債については、引き続き、国に対して廃止を要望してまいります。

(3)その他

番号	意見要旨	意見への対応と考え方
その他		
37	福岡市職員に3つのプラン（政策推進プラン、行政運営プラン、財政運営プラン）に対する意見提出を求め、人事評価の対象としてはどうか。	<input type="checkbox"/> その他 ご意見については、今後の市政運営の参考とさせていただきます。
38	アセットマネジメント工事関係は市職員が自らの手で工程管理及び抜き打ちチェックをしてほしい。 また、不備、監査指摘事項は人事部門も含め職員の責任を追求してほしい。	